

令和5年度 学校運営等に関する評価書

学校名	和歌山市立 小倉小学校
作成日	令和 6年 3月 7日

1 教育目標

『豊かな心情を持ち、よく考え、健康で決まりある行動のできる子を育てる』 ・豊かな心を持ち、みんなと仲よくする子 ・進んで学び、よく考える子 ・心身ともに健康で、生き生きした子
--

2 学校自己評価についてのご意見

	確かな学力の向上	豊かな心の育成	健やかな体の育成	地域とともにある学校
指標	<ul style="list-style-type: none"> ・自学自習の力をつけ、学習内容の習熟度を全国平均に近づける。 ・児童主体のわかる授業が実践できた。(児童・教師90%) 	<ul style="list-style-type: none"> ・学校が楽しいと感じる。(児童90%) ・いじめの解消率を100%にする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・積極的に運動を行える環境を整え、実践する。(教師90%) ・食育を推進し、給食の残食が一日1kg未満になるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学校の情報発信についての保護者評価(90%) ・近隣の諸学校と連携した取り組みを実践できた。(教師80%)
重点目標に対する意見	通常授業や、スキルアップ、放課後学習などを通して、子どもたちが真面目に努力していることは感じられる。さらに成果が実感できる工夫も必要である。	あいさつをはじめとする基本的な生活習慣の充実が、学校生活の充実にもつながる。	体力づくりも大切である。積極的に運動できる子どもに育ててほしい。	ホームページのこまめな更新を心がけるなど、積極的な情報発信を心掛けてほしい。
取組状況に対する意見	学力向上のための学校の取り組みは、今後も続けていってほしい。	あいさつ運動やあいさつポスターの制作に取り組むことは効果的である。障がい者との交流を通じて、理解を深め、介助の実践にもつなげていければと思う。	運動のための環境整備、食育、保健指導は適切に取り組んでいる。	登下校の見守りから学習活動まで、できる範囲で保護者や地域のみなさんと交流を深めることができた。活動を通して、子どもたちの心の育成にもつなげることができた。
取組の適切さの検証結果に対する意見	子どもたちの真面目な取り組みが活かされる学習方法についても検討していく必要がある。	委員会活動で、子どもたちの責任感や自発的な活動が育ってきている。児童会のあいさつ運動、教職員と地域の方の声掛けが成果を上げている。	遊びボランティアのバンブーダンスやドッジボール、弓矢教室などを体験し、体を動かす楽しさを学ぶことができた。	出前授業や社会見学など、子どもたちの体験を増やしていただいていることはよいことである。
改善方法に向けての意見	図書ボランティア、学習ボランティアを確保し、学校・家庭・地域が連携して、学力向上に向けた取り組みが必要。	児童への指導とともに、教職員も挨拶ができていだろうか。大人がきちんとする姿を見せることも大事である。	今後、県立和歌山高等学校との連携を深め、運動部との交流、体験ができるとうよい。	学校ボランティアの方々との結びつきをさらに深めるために、各学年でできる内容を増やしていくとうよい。

3 その他のご意見